

File no. 61



理工学部スキー部 N.U.T.S

理工学部スキー部は毎年3月に、長野県白馬村で行われる全国学生岩岳スキー大会に出場しています。アルペン競技の部（男子クラブ総合）には100チーム前後が出場し、30位以内に入ると翌年のシード権が獲得できます。毎年シード権獲得を目標にしていたのですが、2016年の大会では16位になりました。

部員20人ほどのごちゃごちゃしたサークルです。冬は野沢温泉・北竜湖をベースに活動するSNOW BUSTERS（代表：富井正一さん）というアルペンレーシ

ンチームにお世話になり、合宿を行っています。ごちゃごちゃしているからこそ、一人ひとりのレベルや目標に合わせて合宿中の練習メニューを組むことができます。中には国体に出場するような部員もいますが、半数は初心者なので、4年間かけてコツコツ成長し、各大会で自分なりの結果を残すことを目標にしています。

理工学部スキー部の特徴は、アルペンスキー、基礎スキー、フリースタイルスキーの3種類をどれでもできることです。岩岳スキー大会にはアルペン競技の部、基礎スキーの部があるので、どちらか1つでも、両方でも、出場することができます。2016年は現部長の内藤健也

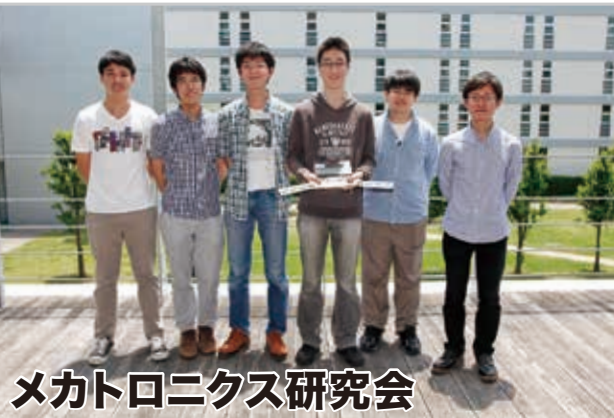
グチームにお世話になり、合宿を行っています。ごちゃごちゃしているからこそ、一人ひとりのレベルや目標に合わせて合宿中の練習メニューを組む



がアルペンの滑降とスーパー大回転で3位に入りました。スキーは個人競技ですが、個人成績の積み上げで総合順位が決まるので、「足を引っ張ったらいけない」という気持ちになり団体戦と一緒に練習している他大学の仲間もいて、お互いに刺激し合いスキルアップもできます。大会で勝ったときにはみんなが喜んでくれるのがうれしいです。

創部58年という歴史ある理工学部スキー部で初となる、男子クラブ総合10位以内を達成するよう、2017年の全国学生岩岳スキー大会では頑張ります。応援してください。

File no. 62

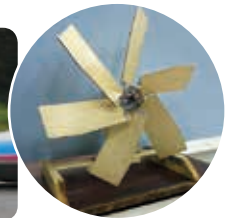


メカトロニクス研究会

メカトロニクス研究会は「相撲ロボット」「風力発電」「電気自動車」という各プロジェクトで、ものづくりを行っています。高校までに工作機械や電気回路に触れていれば、すぐにプロジェクトの活動ができるのですが、未経験者には難しいので、夏休みまでに新入生教育を行い基本的な道具の使い方、情報処理の仕方を総合的に教えています。「相撲ロボット」と「風力発電」は毎年10月に大会があるので、夏休みになると集中的に製

作します。「電気自動車」は引退した4年生がプロジェクトを行って、2014年までは手づくりのEVマシンでサーキットの走行周回数を競う「NATS EV競技会」に出場していました。1年生がプロジェクトを復活したいと言っているのが楽しみです。

「相撲ロボット」は、2011年の全日本ロボット相撲関東大会で優勝した実績があります。その設計図を受け継いでいるのですが、技術が追いつかず近年は好成績を挙げられていません。去年は、基板回路がうまくいかず動かなかったの



で、やむなく棄権しました。外側の部分はほぼそのまま使えるので、今から少しずつ準備して今年は大会に間に合わせたいです。「風力発電」は、生産工学部で10月に開催しているコンペに出場しようと思っています。今の課題は形状の修正です。授業で習っている専門的な知識を使って、もっと風がうまく流れるような機体を作りたいです。

部室にはひとつおりの道具がそろっていますし、未来博士工房や精密機械工学科の研究室に協力していただくこともあります。プロジェクト以外に、個人的に何かを作りたいときにも手軽にできるので、ものづくりがしたい学生にはオススメです。

部室にはひとつおりの道具がそろっていますし、未来博士工房や精密機械工学科の研究室に協力していただくこともあります。プロジェクト以外に、個人的に何かを作りたいときにも手軽にできるので、ものづくりがしたい学生にはオススメです。